

SaaSBoard

多人数モードマニュアル



SaaSBoard
Ver. 5.5

目 次

1. 使用環境と推奨条件
 - 1-1. 使用環境
 - 1-2. 推奨条件
 - 1-3. 機器のセルフチェック

2. 多人数モードのコンファレンスとは？
 - 2-1. 標準コンファレンス画面と多人数モード画面の違い
 - 2-2. 多人数モード画面の説明
 - 2-2-1. 権限者の画面
 - 2-2-2. 一般メンバー(聴講者)の画面

3. 権限者の操作
 - 3-1. 発言希望者を話者枠へ移動する手順
 - 3-2. 発言者の解除

4. 参加者(聴講者)の操作
 - 4-1. 発言
 - 4-2. 手を上げる/下ろす

1. 使用環境と推奨条件

SaasBoardコンファレンスを使用するための環境と条件は下記です。

1-1. 使用環境

(1)ブラウザ: 主なブラウザで動作します。

- ・Internet Explorer 7, 8, 9, 10, 11
- ・Firefox 3.6+
- ・Opera 10+
- ・Safari 4+
- ・Google Chromeは推奨していません。

(2)必要な環境:

①ハードウェア

マイクとスピーカー(音声)、およびWebカメラ。OS上で動作するものであれば、ハードウェアは選びません。

【ハウリングやエコーを低減するために】

個人として使用される場合はイヤフォンかヘッドセットをお使いください。
拠点として複数人で使用される場合はスピーカーフォンをお使いください。
ハウリング防止のためには音を外部に漏らさないという事が大切です。

②ソフトウェア

インターネットを使っていれば自動的に整っている環境です。

- ・Flash Player Ver.11 以上
- ・Java Ver.6 以上 (Java8最新版を推奨)

もし上記環境となっていない場合、以下のサイトからそれぞれダウンロードがしてください。

Flash: <http://get.adobe.com/jp/flashplayer/>

Java: <http://www.java.com/ja/download/>

1-2. 推奨条件

- ・PC-CPU速度: Core2Duo1.8Ghz以上
- ・PCメモリ: 2GB以上
- ・ネットワークLAN環境: 実効速度 (上り)500kbps以上、(下り)1,000kbps以上。
画面共有使用時は実効速度 (上り)2,000kbps、(下り)3,000kbps。
- ・Webカメラ: 130万画素 Logicool社製品、Buffalo社製品
- ・スピーカーフォン(Jabra SPEAK410推奨)、ヘッドセット、もしくは、イヤフォン

1-3. 機器のセルフチェック

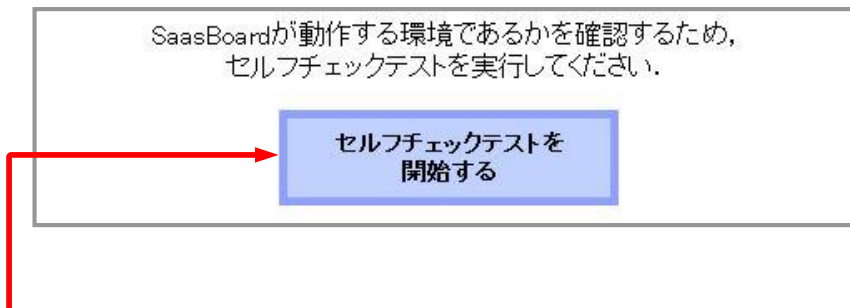
PCを普段から使っている方々も、マイクやカメラとなるとあまり慣れていない場合が多いのではないのでしょうか？そんな状態でビジュアルコミュニケーションサービスを使い始めると、「音が聞こえない」「カメラの映像が映らない」などの初期トラブルに戸惑われることが予想されます。

こういう状況を回避するために、弊社では **【機器のセルフチェック】** が出来るように御用意しております。SaasBoardをお使いになる前に必ずチェックをして、ログインするようにしましょう。

■ 機器のセルフチェックの方法

- (1) SaasBoardサイトTopページにアクセスする
SaasBoardの全てのサイトのTopページには **【機器のセルフチェック】** が出来るように、セルフチェック画面が表示されています。

<http://saasboard.jp>



- (2) **【セルフチェックテストを開始する】** ボタンをクリックしてチェックを開始してください。あとの手順はセルフチェックテストの画面に表示されますので、その手順に従って進めてください。
- (3) 5秒間の録画・録音と再生のテストが、あなたの「Webカメラ」と「マイク&スピーカー」のテストとなります。これで録画・録音した内容が正常に再生されれば、機器が正常に動作することが確認できます。会議でご使用になるマイクやスピーカーから入出力が行われているか、確認して下さい。

2. 多人数モードのコンファレンスとは？

SaasBoardはCollaboタイプに多人数モードオプションを付加した場合、またはRoomタイプのRoom12～Room100の場合、会議室へ10名以上が入室すると自動的に『多人数モード』へ切り替わります。

多人数モードでは、最大100名のコンファレンス(会議)を行うことができます。

【多人数モードが使用できるコース】

(1) SaasBoard/Collabo

Collaboコース+多人数オプション(18/36/50)

(2) SaasBoard/Room

- | | | |
|---------|---------|----------|
| ①Room12 | ⑥Room27 | ⑪Room42 |
| ②Room15 | ⑦Room30 | ⑫Room45 |
| ③Room18 | ⑧Room33 | ⑬Room50 |
| ④Room21 | ⑨Room36 | ⑭Room75 |
| ⑤Room24 | ⑩Room39 | ⑮Room100 |

2-1. 標準コンファレンス画面と多人数モード画面の違い

標準コンファレンス画面は最大9名同時双方向の映像音声通話が可能です。10名以上が入室すると、自動的に多人数モードへ切り替わり、常時同時双方向通話ができる『権限者枠』と3つの『話者枠』、プレストークによる発話ができる『参加者』に分かれた表示となります。

#で表示されます権限者、又は会議オーナー(主催者、○)が話者枠への移動操作をすれば『参加者』から『話者枠』へ移動し、映像拡大表示、映像・音声同時双方向通話となります。同時双方向通話の3つの『話者枠』は権限者(#又は○)の操作により、自由に入れ替え可能です。

【標準コンファレンス画面】

同時9名の双方向通話が行えます。

10人(拠点)目の入室から自動切り替わり



【多人数モード画面】



双方向同時通話可能な『権限者(#)』1名と『話者』3名の計4名と『参加者』に表示が分かります。

『参加者』メンバーが発言したい時は「発言する」ボタンを押すか、「手を挙げる」ボタンをクリックします。

「発言する」ボタンを押し続けている間は一時的に通話可能です。常時通話したい場合は話者になる必要があります。

「手を挙げる」をクリックした場合は、会議の権限者(#,○)が手を挙げた参加者を「話者」枠へドラッグ&ドロップすれば、『話者枠』に移動し、常時通話できる話者となります。(詳細後述)



2-2. 多人数モード画面の説明

2-2-1. 権限者の画面



(図1)

①参加者一覧/権限者映像 切り替えタブ

この「メンバー」タブ、「権限者」タブをクリックすることで、メンバー一覧表示と権限者映像表示を切り替えることができます。

(1) 「リスト」タブ

参加者一覧のリストが表示されます。「権限」欄、「名前」欄、「音声ON/OFF」欄、「映像ON/OFF」欄があり、参加者全員の音声・映像状態が表示されます。また、参加者名をダブルクリックすることで、個人指定チャットや「権限の譲渡」を行うことができます。

(2) 「映像」タブ

現在の権限者(＃)の映像が「権限者枠」(チャットボックスの上)に表示されます。自分が権限者の場合も自分の映像は「権限者枠」に表示されます。

②話者枠

同時双方向で映像送受信および発言の出来る人(拠点)が表示されるエリアです。最大3名の同時発言および拡大映像表示が可能です。映像下の名前は入室時のニックネームです。

③参加者枠

権限者(＃)と話者以外の参加者は参加者枠に表示されます。映像は表示されていますが、音声は『発言する』ボタンを押して発言します。画像下の名前は入室時のニックネームです。

会議への全参加者数が10~20名の場合は小さな動画表示、21名以上は権限者と話者のみ動画で参加者は静止画となります。参加人数が10名になりますと「参加人数が規定を越えたので多人数モードに切り替りました」、21名になりますと「参加人数が規定を越えたのでアイコン表示に切り替りました」、とのダイアログが表示されます。

なお、会議オーナー(主催者、○)はこの参加者枠に居ることも出来ますし、話者枠に移ることも可能です。

④『発言権をキャンセル』ボタン

このボタンをクリックすると、当該話者が参加者となり参加者枠に移動します。『発言権をキャンセル』ボタンは権限者および本人がクリックする事が出来ます。

2-2-2. 一般メンバー(聴講者)の画面



(図2)

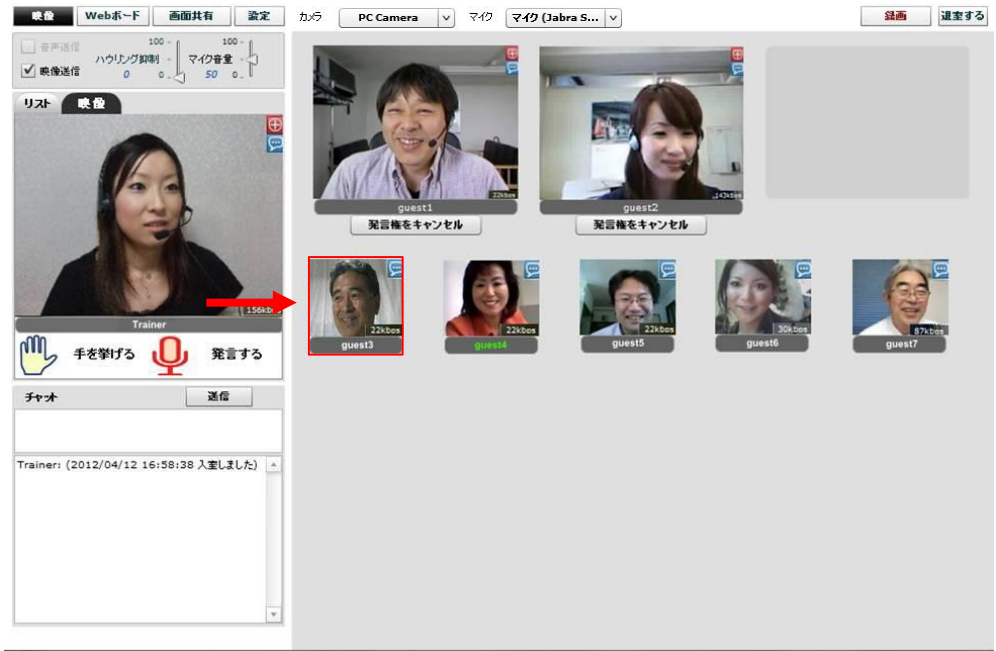
権限者以外の話者・参加者の画面表示も基本的な部分は権限者と同じです(前項図1参照)。異なっているのは、『手を上げる/手を下ろす』ボタンと『発言(マイク)』ボタンが表示されていることです。

- ⑤-(1) 『発言する(マイク)』ボタン (話者は常時通話のため表示されません)
- ⑤-(2) 『手を上げる/手を下ろす』ボタン

3. 権限者の操作

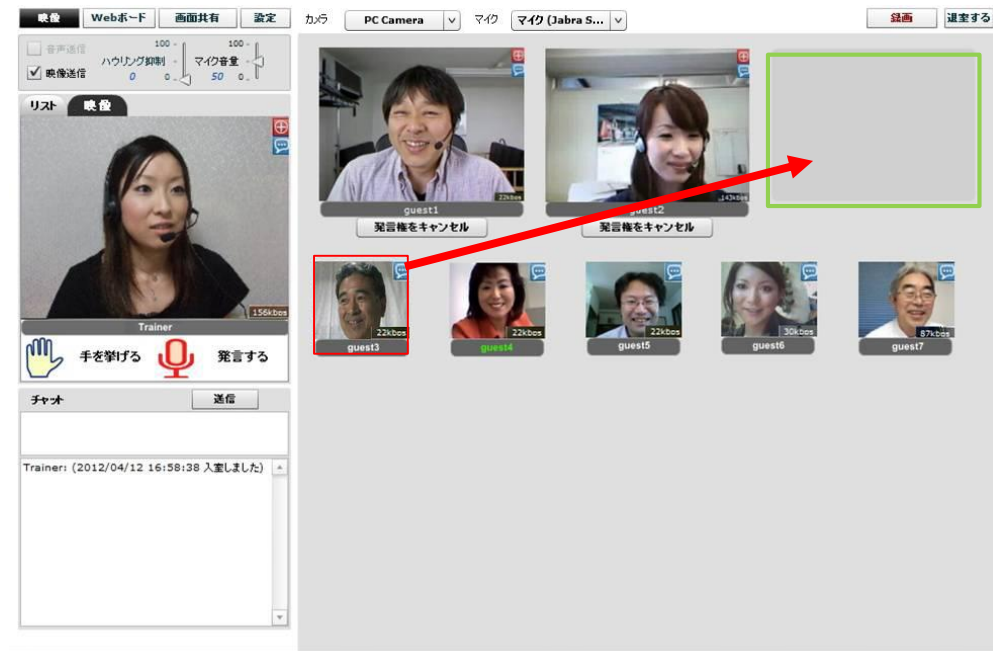
3-1. 発言希望者を話者枠へ移動する手順

(1)
参加者が『手を上げる』ボタンをクリックすると、画像枠が赤くなってサムネイルエリアの左上へ移動します。

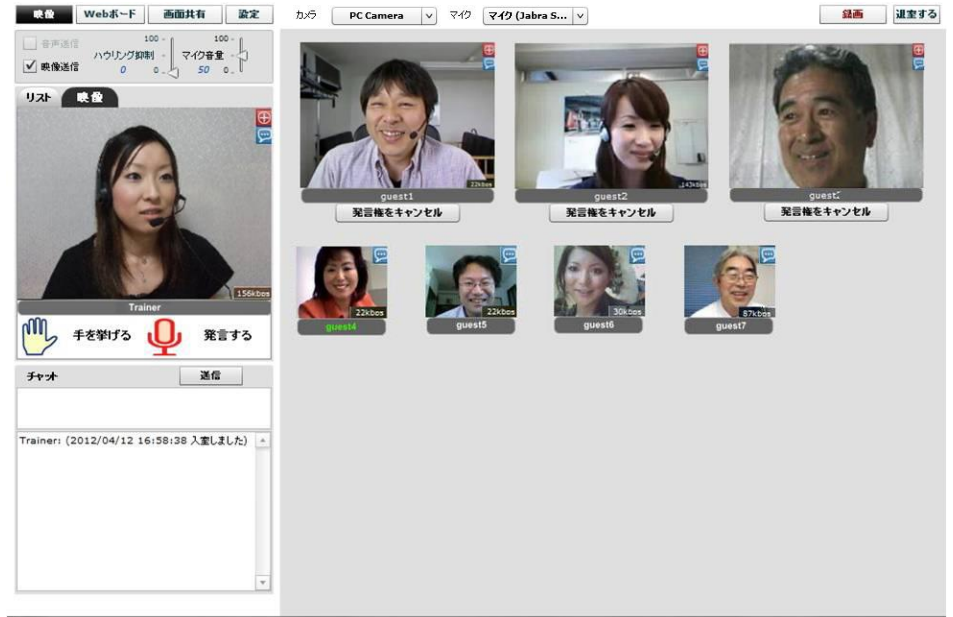


(2)
発言希望者をドラッグ & ドロップ、又はクリックするだけで空いている話者者枠へ移動します。

このとき移動先の話者枠が緑色になります。



- (3)
 発言希望者が話者枠に配置されると、右図のように話者映像の下に『発言権をキャンセル』ボタンが表示されます。



- (4)
 第2発言希望があった場合は、(1)～(2)と同様の操作を行います。

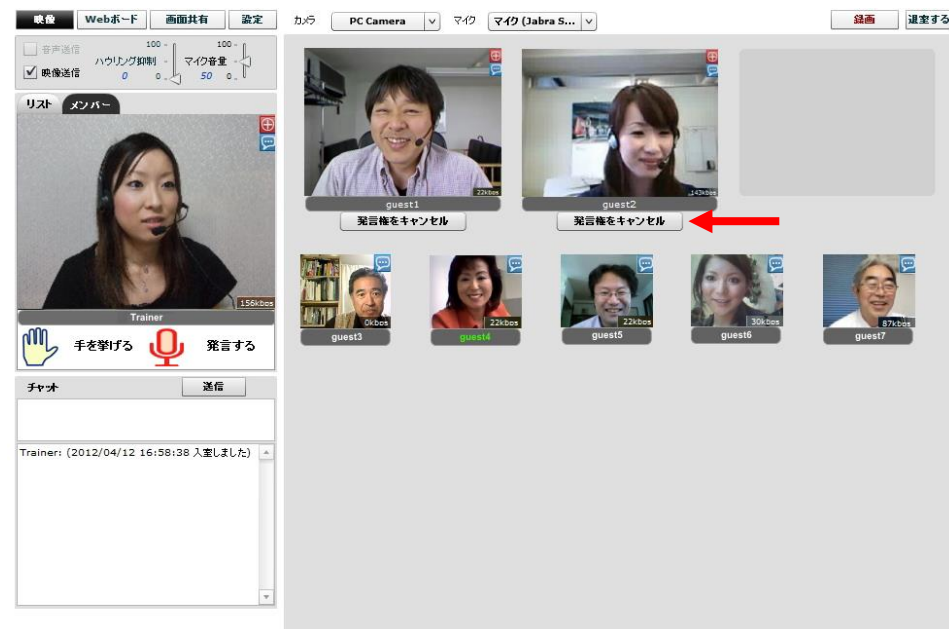
話者枠は3名まで入れることが可能です。

- (5)
 話者枠が3名になって一杯の場合、4人目の方を入れるにはどなたかを『発言権をキャンセル』ボタンを押すことで話者枠から出て頂いてから新しい話者を入れるか、既存の話者の上に新しい話者をドラッグ&ドロップすることで話者入れ替えることができます。

3-2. 発言者の解除

話者の発言権を解除し、一般の参加者(聴講者)とするには『発言権をキャンセル』ボタンをクリックする、もしくは当該話者を『話者枠』から『参加者枠』へドラッグ&ドロップします。

すると、話者は話者枠から参加者枠へ移動します。

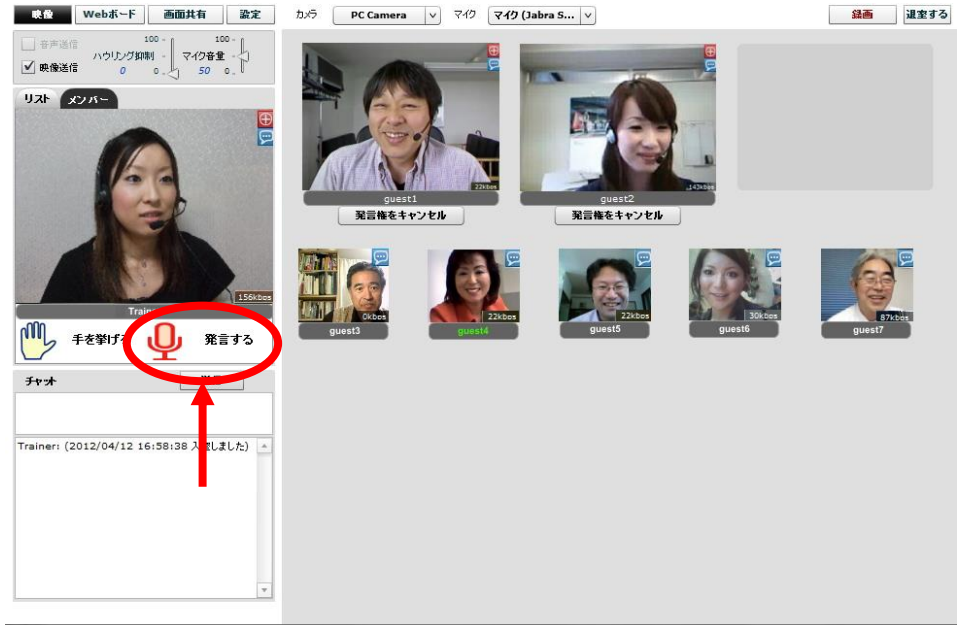


4. 一般メンバー(聴講者)の操作

4-1. 発言

参加者枠にいる人(拠点)が音声をONにしたい場合(発言をしたい場合)は、『発言する』ボタンをマウスでクリックして押します。

『発言する』ボタンは**押し**ている間だけ音声がONになります。



『発言する』ボタンが、押されていない状態のとき。(音声OFFのとき)



『発言する』ボタンが、押されている状態のとき。(音声ONのとき)



話者枠にいる人は常時マイクはONになっています(常時発言できる双方向状態です)ので、『発言する』ボタンは表示されません。



4-2. 手を挙げる/手を下ろす

参加者が何かの意思表示をしたい場合に、『手を挙げる』ボタンをクリックします。『発言する』ボタンとは違い、ずっと押し続ける必要はありません。

『手を挙げる』ボタンをクリックすると、ボタンは『手を下ろす』という表示に変わり、同時に参加者枠にいる人は参加者枠の左上に移動し、映像の周りがピンク枠で表示されます。『手を下ろす』ボタンをもうクリックすると、この状態が解除されます。

『手を挙げる』ボタンの利用方法:

- ・権限者に、自分を話者枠へ移動してほしいときの意思表示
- ・賛成/反対などの意思表示をするとき
- ・質問をしたい場合の意思表示
- ・多数決をとる場合の意思表示など

【 『手を挙げる』ボタンが押された状態のとき 】

ボタンが『手を下ろす』に表示が変わります。

参加者枠の左上に移動し、ピンクの枠で囲まれて表示されます。

『手を挙げる』ボタンが解除されている
(ボタンが押されていない)状態の時



『手を挙げる』ボタンがクリックされて
いる(ボタンが押されている)状態の時



本マニュアルに関するお問い合わせ
ニューロネット株式会社
042 - 785 - 4737
info@neuronet.co.jp